日医発第 1525 号（健Ⅱ）
令和 8 年 11 月 2 日

都道府県医師会
感染症危機管理担当理事 殿

日本医師会感染症危機管理対策室長
笹　本　洋　一

AMR 対策臨床セミナー『抗微生物薬適正使用の手引き 第四版』解説編②の開催について（ご案内）

今般、国立健康危機管理研究機構 AMR 臨床リファレンスセンターより標記のセミナーにつきご案内がありました。

本セミナーは、2026 年 1 月に公開された「抗微生物薬適正使用の手引き第四版」の解説を行うものであり、今回は主に乳幼児を対象に各医療従事者が主に抗微生物薬の必要な状況と必要でない状況を判別できるよう支援することを念頭に置いた内容とされております。

お申込み等につきまして、下記にお示しいたします。

■ 日時：2026 年 11 月 25 日（水）19:00～20:30
■ 開催形式：WEB（Zoom）
■ 講演：講演 1　「乳幼児における急性気道感染症」
　19:05～19:45　大坪勇人　獨協医科大学医学部小児科学助教
　講演 2　「乳幼児における急性下痢症・小児の皮膚軟部組織感染症」
　19:45～20:25　磯部裕介　浜松医科大学小児科／感染制御センター医員
■ 定員：500 名（先着順）
■ 申込方法：下記 URL よりフォームにご記入の上、お申込みください
　https://zoom.us/webinar/register/WN_4CfQarMMSO2RnCH6kXM3xQ
■ 申込締切：2026 年 11 月 23 日(月)
■ 取得可能単位（申請予定）：ICD 制度協議会の推薦するその他の講習会、教育企画 2 点（更新用 ICD 認定者のみ）
　日本医師会生涯教育制度 CC81 単位

つきましては、貴会におかれましても本件についてご了知いただくとともに、貴会管下の郡市区医師会並びに関係医療機関等に対するご周知につきご高配を賜りますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

AMR Clinical Reference Center
厚生労働省委託事業

2026年度 AMR対策臨床セミナー

「抗微生物薬適正使用の手引き 第四版」解説編②

日本の抗微生物薬使用の多くは経口抗菌薬であり、その多くは外来で処方されていることが推測されます。一方で急性気道感染症や急性下痢症、皮膚疾患などでは、抗微生物薬が必要な状況は、実は限定されています。

本セミナーでは、2026年1月に公開された「抗微生物薬適正使用の手引き 第四版」の解説を行います。主に乳幼児を対象とし、各医療従事者が主に抗微生物薬の必要な状況と必要でない状況を判別できるよう支援することを念頭に置いた内容となっています。

「抗微生物薬適正使用の手引き 第四版」 医科・外来編
https://amr.jihs.go.jp/pdf/MAS4_01.pdf

2026年11月25日(水) 19:00-20:30
[Zoomにてオンライン配信]

プログラム

「抗微生物薬適正使用の手引き 第四版」解説編②

講演1　「乳幼児における急性気道感染症」
19:05-19:45
大坪 勇人　獨協医科大学医学部 小児科学 助教

講演2　「乳幼児における急性下痢症・小児の皮膚軟部組織感染症」
19:45-20:25
磯部 裕介　浜松医科大学　小児科/感染制御センター　医員

●参加申し込み　下記URLよりフォームにご記入の上、お申込みください
https://zoom.us/webinar/register/WN_4CfQarMMSO2RnCH6kXM3xQ
◆オンライン参加:500名（先着順）◆申し込み締め切り　2026年11月23日(月)

取得可能単位（申請予定）
- ICD制度協議会の推薦するその他の講習会、教育企画2点　（更新用 ICD認定者のみ）
- 日本医師会生涯教育制度　CC8　1単位

お問い合わせ:　国立健康危機管理研究機構　AMR臨床リファレンスセンター(厚生労働省委託事業)　e-mail:amr@jihs.go.jp